

様式11号

令和5年11月27日

兵庫県阪神北県民局長 様

主たる事務所の所在地 宝塚市川面3丁目23番12号

医療法人名 医療法人社団 大門医院

理事長 大門 勝史

(連絡先電話番号) 0797-86-0881

## 決 算 届

令和4年度の決算を終了したので、医療法第52条第1項の規定により届け出します。

(添付書類)

- 1 事業報告書
- 2 財産目録
- 3 貸借対照表
- 4 損益計算書
- 5 監事の監査報告書



(注)

- 1 貸借対照表及び損益計算書は、病院、診療所又は介護老人保健施設別のものを提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りる。
- 2 提出は会計年度終了後3月以内である。
- 3 貸借対照表の純資産額に変更があった場合は、会計年度終了後2ヶ月以内に登記事項（組合等登記令（昭和39年政令第29号）別表の資産の総額）の変更の登記が必要である。
- 4 正副2部（病院・介護老人保健施設を運営する法人、神戸、姫路市、尼崎市、西宮市に法人事務所のある法人は正副2部と受理機関の控えの計3部必要）

様式 11-1

事業報告書  
(自 令和4年9月1日 至 令和5年8月31日)

1. 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人社団 大門医院
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり )
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
- ☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の ☐ を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 兵庫県宝塚市川面3丁目23番12号
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 平成6年10月11日
- (4) 設立登記年月日 平成6年10月20日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長		
理 事		
同		
同		
同		
同		
同		
監 事		
同		
評 議 員		
同		
同		

- 注) 1. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第47条第1項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第49条の4参照)

## 2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院			一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所	大門医院	兵庫県宝塚市川面3丁目 23番12号	一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]
介護老人 保健施設			入所定員 名 通所定員 名

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
大門医院鍼灸部	兵庫県宝塚市川面3丁目 23番12号	H25年5月開設
カービス付高齢者向け住宅 「グランポルト・宝塚」	兵庫県宝塚市川面3丁目 23番12号	H25年5月開設
特定施設入居者生活介護・介護 予防特定施設入居者生活介護 事業	兵庫県宝塚市川面3丁目 23番12号	H25年5月開設
ほっとスペース天 【宝塚市の委託を受けて行う 児童の福祉の増進について相 談に応ずる事業】	兵庫県宝塚市栄町1丁目 17番8-2号	H28年10月開設

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

	会議名	議決又は同意事項
令和 4 年 10 月 25 日	社員総会	令和 3 年度決算の決定・役員報酬改定
令和 5 年 8 月 31 日	社員総会	令和 5 年度の事業計画及び収支予算の決定

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

平成 年 月 日 （施設名・事業所名）  
 平成 年 月 日  
 平成 年 月 日

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

平成 年 月 日 （指定内容）  
 平成 年 月 日  
 平成 年 月 日

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(7) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

## 様式11-2

法人名 医療法人社団 大門医院  
所在地 宝塚市川面3丁目23番12号

※医療法人整理番号

財 産 目 録  
(令和 5年 8月 31日現在)

1. 資 産 額 529,945 千円  
2. 負 債 額 594,349 千円  
3. 純 資 産 額 △ 64,404 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	51,319
B 固 定 資 産	478,626
C 資 産 合 計 (A+B)	529,945
D 負 債 合 計	594,349
E 純 資 産 (C-D)	△ 64,404

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人社団 大門医院

※医療法人整理番号

所在地 兵庫県宝塚市川面3丁目23番12号

## 貸 借 対 照 表

(令和 5年 8月 31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	51,319	I 流 動 負 債	45,023
II 固 定 資 産	478,626	II 固 定 負 債	549,326
1 有 形 固 定 資 産	453,684	負 債 合 計	594,349
2 無 形 固 定 資 産	1,286	純 資 産 の 部	
3 その他の資産	23,656	科 目	金 額
		I 資 本 金	30,000
		II 資 本 剰 余 金	
		III 利 益 剰 余 金	△ 94,404
		IV 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
		純 資 産 合 計	△ 64,404
資 産 合 計	529,945	負債・純資産合計	529,945

千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

法人名 医療法人社団 大門医院  
所在地 宝塚市川面3丁目23番12号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書  
(自 令和 4年 9月 1日 至 令和 5年 8月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	161,656
2 事業費用	238,465
本来業務事業損失	76,809
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	89,454
2 事業費用	
附帯業務事業利益	89,454
事業利益	12,645
II 事業外収益	2,417
III 事業外費用	7,290
経常利益	7,772
IV 特別利益	351
V 特別損失	
税引前当期純利益	8,123
法人税等	211
当期純利益	7,912

- (注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。  
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。  
3. 千円未満の端数処理のため、金額の合計と内訳が一致しないことがある。

## 監事監査報告書

医療法人社団 大門医院

理事長 大門 勝史 様

私は、医療法人社団大門医院の令和4年会計年度（令和4年9月1日から令和5年8月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

### 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

### 記

#### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和5年 10月 25日

医療法人社団 大門医院

監事 新井 一秀